



## 現役の活動状況

### 第69回高校春季総合体育大会兼 第66回インターハイ予選

2015年4~6月

**女子** 参加 42 チーム 顧問・赤星 明  
 [北ブロック大会・リーグ戦]  
 ● 寝屋川 7 — 11 北野  
 ○ 寝屋川 23 — 3 大冠  
 (リーグ戦・敗退)

インターハイブロック予選は、7年ぶりの抽選になりました。秋の新人戦で、シード権を逃し、前大会1位の箕面高校以外のゾーンをと、思っていました。同じゾーンの北野高校は、新人戦で、箕面高校のゾーンを引いて、敗れました。北野高校は、「箕面高校以外、すべて勝てる」と、豪語していました。その北野高校が、箕面高校のゾーンの②番引いた時、「また今回、箕面高校を引いたな」と、思っていました。①だけはいやだなあと、思っていたのですが、寝屋川高校が引いたくじは、①番でした。一番いやなところに、抽選が決まりました。マネージャーは、涙ぐんでいました。初日の、北野高校との試合が、勝負でした。前半は、ノーマークシュートをことごとくはずし、3：8の5点差で、折り返しました。私はハーフタイムで、9年前のチームの話をしました。決勝戦で淀商に2：7で負けていて、半分あきらめていましたが、後半ががんばり同点になり、ペナルティ合戦で優勝し、その勢いで、中央大会で2回勝って、大阪ベスト4のスーパーシードをとったことでした。選手達は、後半ががんばりましたが、4：3で、結局7：11で、負けてしまいました。4月29日は、大冠高校との消化試合でした。私は、「今の1年生は、君たちの勝つ姿を見ていない、寝屋川高校は強いと思わせるように、がんばりなさい」と、言いました。

前半10：0で終え、後半は新2年生チームを、少し出場させました。最後は23：3で、勝利しました。終わってから、笑顔もあり、少しの涙もありの、引退でした。いつもは、中央大会に出場し、堺市の家原大池体育館で負けて、涙の引退というパターンでしたので、4月のグランドでの引退は、何かいつもと違っていました。今年の新入生は、9人入部しました。その中の1人に、私が西寝屋川高校で教えていた30年前、一緒に大阪選抜でドイツ遠征に行った、母親がいました。母、子にハンドボールを、教える、・・・。長い年月、ハンドボールを指導しているんだなあと、実感しました。新チームには、「早くチームの切り替えができるので、がんばりなさい」と、言ってます。(実際、いつもこの原稿を書く時は、中央大会前で、「中央大会、がんばります」と、書いていました。)秋の新人戦の、2週間前にやめた生徒が、4ヵ月後に、復帰してくれました。この生徒に、キャプテンを、任せました。新チームは、能力も高く、期待出来そうです。選手のノートにも、「先生を、近畿大会に、連れて行きます」と、多くの人が、書いてくれていました。私の最後(?)のチャンスの学年に、また、夢を追いかけます。



**男子** 参加 64 チーム 顧問・堀川 美子 (27期生)  
 [北ブロック大会・リーグ戦]  
 ○ 寝屋川 24 — 16 都島工業  
 ● 寝屋川 13 — 23 箕面  
 (リーグ戦・敗退)

3年生は、自分たちの代になって、どんどん上達してきました。いろんなチームに、声をかけていただき、練習試合でも粘り強く戦い、おもしろいチームに、育ってきました。それに2年生が、新人大会終了後より、メキメキ上達し、試合でも使えるように、なってきました。

抽選会で、部長が引いたくじは、新人大会で、関西大学北陽高校が、中央シードに上がっていたので、4つあるシード枠の枚方、北千里、大商学園以外の、空いていたシード枠でした。この枠のトップになれば、中央出場になります。そこには、最初のリーグ戦で箕面高校、そこを抜けたら、茨木高校と、どこも中央大会を狙える、公立高校との対戦です。初日の都島工業は、新人戦では接戦で勝利しましたが、今回は、持ち味のカットからの速攻や、遅攻でも、スピードのある切込みや、ポストを使ったワン・ツーや、縦ブロックなどで点を重ね、勝つことができました。続く箕面戦では、立ち上がりポンポンと点を取り、「よし！」と、思ったのもつかの間、すぐに同点になり、それからは、なかなか点が入らず、点を取られたら取り返すの、緊張した試合でした。前半は6：7で、1点負けの状態でした。後半も、最初は、前半と同様の、試合でした。後半10分位経ったとき、箕面のシュートを止め、キャプテンが速攻に飛び出し、「いけー！、速攻や！、同点や！」と、思った瞬間、キーパーは、それが見えていなかったのか、エリア近くにいる味方にボールを投げようとしたのが、シュートはずした相手に、呆気なくカットされ、2点差となってしまいました。そこから、寝屋川の弱さが、出てしまいました。みんなの気持ちが焦って、「何かしないと、追いつかれへん！」と、走り回っているけれど、バタバタしているだけで、パスミス・キャッチミス、そしてノーマークシュートははずす。敵にボールを取られ、シュートを決められ、2回あったタイムアウトも、「1つずつ、やることを決めて、落ち着きなさい」の、言葉も、みんなの耳には、届きません。あっけなく、大差をつけられて、負けてしまいました。他校の先生方からは、「寝屋川があがってくると、思っていたのに」とか、「寝屋川対策、練っていたのに」と、残念がられました。これが寝屋川の、今の実力なのだ！、ここ一番踏ん張れない、寝屋川の弱さなのだ！と、選手とともに、越えられなかった壁を、痛感しています。3年生は、これからの進路実現に向けて、是非この壁を、乗り越えてほしいと思っています。3年生が引退し、1年生は5人と、入部が少なかったのですが、2年生11人と、新しい寝屋川高校男子ハンドボール部をめざし、がんばって練習しています。私も気がつけば、1年半後、退職となります。





役員として、部員を学校に残し、中央大会の試合会場に、借り出されますが、これほど、つまらないものはありません。

今回始めて部員に、「寝屋川高校として、一緒に中央大会の試合に、連れて行って！」と、お願いしました。

OB・OGの皆さん、時間があれば、現役の様子を、見に来てください。

#### 【現役の状況】

学年	男子	マネージャー	女子	マネージャー	合計
3年	11	2	11	3	27
2年	11	0	13	2	26
1年	5	0	9	1	15
合計	27	2	33	6	68

### 寝屋川高等学校准校長、就任挨拶

6代目顧問 大森 孝志（31期生）

皆さん、こんにちは。

このたび、寝屋川高校准校長の職に、就かせていただくことになりました、大森です。

定時制の校長のことを、准校長と呼びます。

母校の、名に恥じないように、一生懸命、務めさせていただきます。

よろしく、お願いします。

自分のことを、少し振り返ります。

中学生の時は、陸上部で長距離走を、専門にしていました。

その反動で、高校では、チームスポーツをしたいと思い、ハンドボール部に、入部しました。

自分たちの学年は、7人ぎりぎりでしたので、その意味で、一人ひとりが互いに対して、濃いかかわりをもつことが、できたと思っています。

練習時も、今のように、6:6の攻防練習はできず、(5代目)顧問の北岡先生のご指導の下、ランパス、シュート、フェイント、ワンパス速攻、3:3等の、基本的な練習を、繰り返していました。

その結果、基礎体力は、十分に養われたのではないかと、思います。

そして、顧問の先生や、諸先輩方の、熱心なご指導の結果、自分がハンドボールから得たものは、大切なものばかりです。

まず体力、前述のように、少人数でしたので、夏の日照りの下、繰り返しランパスや、ワンパス速攻をやっていたことを、思い出します。

特に、OBの方が来られた時などは、かなり走らされた、思い出があります。

そのおかげで、現在に至るまで、同年代の人たちの中では、体力があるほうだと思っています。(年齢による衰えは、ありますが)

つぎに、生涯にわたって、何かスポーツをしようという態度が、養われました。

高校で3年間、ハンドを続け、引退した後も、何か運動をしていないと、体が落ち着かない、感じがありました。

その感覚のおかげで、高校卒業後も、いつも何らかのスポーツに、関わってきています。

最近では、自宅から片道25分間の自転車通勤が、いい運動になっています。

そしてなにより、しんどい時に、粘り強く、踏ん張る力、しんどい時に、声を出し、励まし合う、姿勢です。

先輩に、しんどい時こそ、声を出せと言われ、それが身に、沁みついていきます。

つらい時に、お互いに、励まし合う姿勢も、身につきました。

仕事のいろいろな場面で、粘り強く取り組むことができ、また、頑張っている人、つらい思いをしている人を見ると、自然と声を出し、励ましています。

現役の皆さん、クラブを続けるということは、いろいろと、しんどいことがあると思います。

しかし、今の頑張りが、必ず将来に、いろいろな形で、生きてきます。

頑張ってください。

最後に、一緒にプレーをした31期生の皆さん、先輩・後輩の皆さん、また、私が顧問であった時の、生徒の皆さん、皆さんと作った思い出の、一つひとつを大切にしながら、寝屋川高校の定時制で、日々を過ごしています。

こちらに、来られることがありましたら、是非准校長室を、訪れてください。

いろいろとお話ができれば、うれしいと思っています。



## 2015年

### 正月ハンドボールの報告

21期 菊地 和代

今年も、母校寝屋川高校で、1月10日(土)「新年ハンドボール」が、現役・OB・OG78名の参加のもと、行われました。

正午からの親睦試合では、現役の活気溢れるプレーに、OB・OGも元気をもらうことが、出来ました。

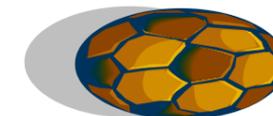
その後、第2部新年会はセミナーハウス3階にて、豚汁・おしるこを食べながら、恒例のビンゴゲームを行い、景品を受け取る時に、出身校・今年の抱負等を発表していただき、和やかな雰囲気の中、楽しい時間を過ごすことが、出来ました。

今回、若手のOBの参加が少なく、残念でしたが、活躍されている先輩達の姿を、是非現役達に見せ、エールを送って下さい。

顧問の赤星先生・堀川先生の、熱心な指導の下、部員も増え、目標に向かって、頑張っています。

我々OB・OGも、参加する度に、現役のエネルギー溢れるプレーや行動に、パワーを頂いています。

8月の「盆サマーハンド」には、多数のOB・OGの参加を、お待ちしております。



## 2014年度・67期生

### OB・OG会入会式

21期 菊地 和代

平成26年度、ハンドボール部の卒業生、男子9名・女子13名(マネージャー、女子4名含む)、計22名のOB・OG会入会式を、本校3階家庭科室をお借りして、卒業式前日の3月6日(金)に開催しました。

冒頭、寺西会長よりハンドボール部OB・OG会の活動目的・会則が説明された後、「OB・OG会入会認定書」「記念品」を授与し、今後のOB・OG会の活動協力者として、男女各3名を、役員に選出してもらいました。

卒業後の初めての、5月の役員会に、早速4名出席して頂き、心強い限りです。

共に、寝屋川高校のハンドボールコートで、汗を流した仲間であるからこそ、卒業後、それぞれの道に進んでも、ボールを手に取り会って話せば、離れていた時間を忘れ、語り合えるはずです。



OB・OG会の活動を通じて、先輩方・現役とも親睦を深め、共に今後の寝屋川高校ハンドボール部、OB・OG会の益々の発展に、尽くしていきましょう。

## 2015年 総会・盆サマーハンドボールの案内 現役男女が、元気です

今年度の第23回総会、及び、盆サマーハンドボールを、現役の秋季大会（8月9～19日）、学校の行事の関係もあり、少し遅くなりますが、下記日程で行いますので、お誘いあわせの上、多数ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

現役とOB・OGの親睦練習試合、恒例のビンゴゲーム・飲み物・軽食・スナック等を用意します。

現役男女、部員数も多く、元気です

近年OB・OGの参加に、やや寂しいものがありますが、現役への応援・支援の意もこめ、まだ体の動く方々の、より多くの皆様のご参加を、お待ちしております。

又、2次会への参加のみでも、結構です。

厚い夏の暑気払いに、1杯やりましょう。

日時	平成26年8月22日(土)	
	雨天：親睦試合、中止、総会・懇親会のみ	
総会	1:00～	セミナーハウス3階
親睦試合	2:00～	ハンドボールコート
懇親会	4:00～5:00	ハンドボールコート
2次会	5:30～	がんこ寿司寝屋川店
参加費	500円	

## 若手OB・OGの皆さんへの、参加のお願い

副会長 小合 省三（24期生）

私は、OB・OG会副会長の、昭和47年卒業（24期）の、小合です。

OB・OG会では毎年、盆と正月に、OB・OG会を開催し、現役とOB・OGの交流試合、ビンゴゲーム等による、現役との懇親、そしてお互い自己紹介をしながら、会食をし、親睦を図っています。

しかし最近、卒業間もない、若手OB・OGの参加が少なく、試合ができづらい状態が、続いております。

学生の方も、社会人の方も、お忙しいとは思いますが、現役を鍛えに、技術の伝承に、励ましに、是非OB・OG会行事に、来てください。

そして、これからの寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会に、ご意見・要望をください。

このままでは、年寄ばかりのOB・OG会になり、やがて年金生活者ばかりとなり、活動もおぼつかなくなると、思います。

私は、今、社会人としてやってこれたのは、寝屋川高校ハンドボール部で学んだことが、血となり、肉となったのではないかと、感謝の気持ちで、お手伝いさせていただいております。

誰も、感謝の気持ちがないのであれば、OB・OG会は、解散してもよいのではと思いますが、皆さんは、いかがでしょうか！

寝屋川高校ハンドボール部で、活動して良かった、消滅することなく、末永く継続してほしいと思う人は、是非ともご参加、ご意見を、お願いいたします！



## 会計よりの、御礼とお願い

23期 井上 武久

会員の皆様には、平素より本会の運営に、ご理解とご協力いただき、又次掲の、平成26年度（2014.7～2015.6月）OB・OG会会費納入者の方には、御礼申し上げます。

今後とも、会費の趣旨をご理解いただき、本会の発展、並びに、円滑な運営を行うため、平成27年度の年会費の払い込みにつきましても、会員各位のご協力を、よろしくお願い申し上げます。



払い込みには、同封の郵便振替払込書、又は、銀行振込みでお願いいたします。

### ・郵便局利用

口座番号 01100-6-73829

加入者名 寝屋川クラブ

(注) 金額欄には「¥」を、書かないで下さい。

この振込用紙には通信欄もありますので、会の運営に対しての、ご意見や近況報告など、ご自由にご利用下さい。

### ・銀行振込利用

振込銀行 住友銀行 川西支店

口座番号 普通預金 1011226

口座名義 寝屋川クラブ 井上武久 (イノウエ タケヒサ)

※年会費：社会人 5,000円

学生 免除

(正月、盆・サマーハンドへの参加を、優先する為の、運用上の特別扱いとしています。)

## 平成26年度(2014.7～2015.6月)会費納入者

2015.6.30 現在

3期	睦月欣子	村田芳子	森広洋子	梅垣修三	中嶋直彦
5期	松本由紀子	中東義治	樋上重夫		
6期	望月滋乃	川瀬新吾			
7期	金馬桂子				
9期	長澤邦子				
12期	尾亀敬子	小谷吏佐子			
13期	土井利勝	平井謙二			
14期	吉田育弘				
15期	小倉裕子				
16期	木野実				
17期	中田順子	川口宗一郎			
18期	木村圭子	谷村千津子	津熊美智子	木村慶次	
19期	平井晴美	竹守雅裕	吉田裕紀		
20期	寺西啓三	井川隆三	香西安勝		
21期	梅垣三七子	菊池和代	中西量子	松本ひろ子	今堀太逸
		松尾信一郎			
22期	小森園多恵子	古本まみ			
23期	井上武久	葛木啓之			
24期	小合省三				
26期	地原繁信				
27期	渡部安晴				
29期	甫田裕佳理				
30期	野際登美子				
31期	田中裕一	大森孝志			
33期	久木久美子				
34期	荒木克洋				
41期	安田郁				
43期	小林恭子				





## 寝屋川クラブ会報

47期 尾張京子

59期 北崎千咲子 泊智佳子

### 会員リレー伝言板

19期 漆原 満起子 (旧姓、大西)

この原稿を頼まれて、私はいったい何期だったのかという所から、思い出さなければ、なりませんでした。

「(4代目顧問)望月先生をしのぶ会」(2012年11月開催)に参加するまで、本当にご無沙汰していました。

同期の竹村(旧姓、時田)、戸井(平井)、小西(寺東)さんとは、時々、連絡をとったりして、消息は知っているのですが、後は、音沙汰なしの、生活を送っていました。

この原稿を書くにあたって、50年前のことが、いろいろと思い出されてきました。

私が、ハンドボール部に入ったのは、まだ入学もしていない、春休みのこと。

その前にきっと、望月先生と私の兄(16期、大西武三)で、こんなやりとりが、あったのではないかと、思います。

「お前の妹、ハンドボールに入らないか?」、「いや、妹は、のたりくらしと、漫画ばかり読んでるし、太っているし、無理違うかな」、「でも、キーパーがいらないし、お前たちの妹なら、運動神経も、そこそこあるやろうし、入ってしまえば、こっちのものやし、なんとか入れてくれ」、なんていう話になって、私は、誰も知らない、何も知らない、ハンドボールの春合宿に、参加ということになったと、思います。

初めての合宿は、しんどかった。

身が入り、動けない。

でも、キーパーは、私一人。

今から思えば、嫌やとも言わず、よくやったと思います。

ただ、先輩たちが優しくかったし、キーパーは私一人なので、なんとかやってこれたと、思います。

そのうち、1年生も、3人入ってきました。

戸井さん、小西さんは、私の姉(9期、長澤邦子)が、中学校でハンドを教えていた、教え子、そして竹村さんは、同じ中学校からやってきたので、すぐに仲良くなり、いくら練習がしんどくても、帰

りにちょこっと、食堂に寄ったり、愚痴をこぼしたりしながら、慰めあって、頑張ることができました。

朝練があったときは、授業中、眠かったし、我慢できず、居眠りをしてしまうと、「お前もか、大西きょうだいは、いつもいねむりしとる。」なんて、先生に叱られました。

きっと、姉たち(11期、古橋和子)、兄たち(14期、大西勇三)も、こんな調子だったのでしょうか。

ただ、姉や兄たちの頃は、国体やインターハイに優勝するなど、すごく強かったようですが、私たちの頃は、部員もぎりぎりの人数で、3年生が引退してからは、7人しか、いなかったと思います。

それで、入部してくれる人を探して、入ってもらっても、続かず、いつも試合なんか、交代無しで、怪我や病気にならないかと、ドキドキものでした。

でも、伝統と先輩達の方で、1年のときは長野、2年のときは熊本でのインターハイに、出ることができました。

ただ、1回戦か2回戦で、敗退したように、思います。

又、私たちの若い頃は、練習中、水を飲んだらだめということで、どんな暑い夏でも、途中で水は飲めませんでした。

それで、顔を洗うふりをして、水を口に含んだり、もっとひどいときには、水の入ったバケツに入れてある、顔を拭くためのタオルから、水をすいとったり、したものでした。

今なんか、水を我慢するなんて、それこそが問題なのに。

また、うさぎ跳びも、よくやりました。

コート2周なんて言われたら、ぞっとしました。

今思えば、暑い暑い夏も、寒い寒い冬も、休まず、よく頑張ったものだと思います。

それこそ仲間や、今は亡くなられた、懐かしい望月先生の方だと、思います。

そんな青春時代を送れたことを、幸せに思います。

今は、小学校の教師を退職し、卓球を楽しんでいます。

運動といえるものは、高校時代しかしてないのですが、今でも元気で、体を動かすのが平気なのは、あの頃、ハンドをやったおかげだと、思っています。

さて、次の伝言者ですが、向こうのコートで、いつも楽しそうに練習をしていた、男子で1つ上の、頼さん、松田さん、2つ上のキーパーで、あんなに背が高かったら、どんなシュートでも、止められるだろうなど、憧れていた川口宗一郎さん、女子のマネージャーで、いつも笑顔で、励ましてくれた、1つ上の小寺さん、お元気ですか?、よろしくお祈りします。

21期 山本 晶子 (旧姓、細見)

会報12月号が送られてきて、もう大阪には、行くことはないなあ、と、ばらばらとめくっていたら、懐かしい名前、あら梅垣って、奥平さん!、あれっ、わたしの名前も、懐かしさと、彼女の頑張りに感激、当時の私は、何て呑気に、受け止めていたのでしょうか。

次は、私のところには、来ないよなあ、悪い予感がふっとよぎりながらも、日常に流されていたら、また、懐かしい同期の菊池さん(役員)からのお電話で、予感的中、ここに伝言板を、書くことになりました。

大阪を離れて40数年、すっかり関東圏(埼玉県在住)での行動で、高齢者の健康体操、ウォーキング、自宅でのピアノ教室、家事にと、バランスよく日常を楽しんでいて、あの灼熱の校庭での練習など、すっかり忘れていました。

が・・・、そう言えば、インターハイ(和歌山)へ、出場したと記憶しています。

紀三井寺近くの宿泊で、早朝練習に紀三井寺のあの急な階段を、駆け上っていましたら、住職さんに叱られて中止、命拾いをしたこと。

そうそう、夏休み明けの通学初日は、寝屋川の駅から学校まで、ぞろぞろ歩いていく生徒たちの中で、奥平さんと私は、チョコレート色に日焼けして、まるで異国人のようでしたね。

私は、キーパーでしたので、ふくらはぎ、太ももの内側は、内出血でひどく変色、母親に見つかって、真っ黒に日焼けして、打ち身だらけの娘の姿を、見るに見かねて、望月先生(4代目顧問)に、やめさせてほしいと、直談判したようです。

先生が「続けさせて、ほしい」と、自宅までいらしたようでした。

今となっては、母の気持ちも理解できますが、ぎりぎりの人数で、頑張っていた仲間や、熱心に指導して下さっている先生のことを考えると、やめきれなかったです。

望月先生が、きつい練習の後で、「おまえら、50になってみろ、このきつさの値打ちが、わかるから」と、15歳の私たちに、そんなこと言うか〜って、思ってましたが、今となっては、良くやれたなあ、先生、仲間、伝統のお蔭だと、感謝しています。

でも、3年生で奈良に引っ越して、通学時間が増え、泣く泣く退部したと、記憶しています。

中学までは、文化系で、高校入学が決まり、体操着を着た瞬間、何を思ったか、「私、運動部に入る!」って宣言、体育館で部活勧誘会があり、真っ黒に日焼けした、小柄な女子が、高い声を張り上げて、熱く語られて、すごいパワ





## 寝屋川クラブ会報

一に感動して、入部を決めたのだと思います。

あのパワフルな戸井さん（19期）、どうしていらっしゃるんですか？

「がんばろー、おうー、ファイトー、おうー」、40年経った今でも、乾ききった校庭の砂と、灼熱の太陽の中、あの甲高い青春の掛け声が、聞こえてきます。

それでは恒例に従い、次の伝言版引継ぎ者ですが、同期の豊島さんか、山本さん、ご無沙汰していますが、いかがが経過ですか、次号、よろしくお願いします。



32期 岸 俊之

### ゴールキーパーの10年間

高校時代、私たちのアイドル的存在であった、マネージャー3人のうちの1人、山本さん（「やまもっちゃん」と、勝手に呼んでいました）からの指名で、書くことになりました。

近いうちに、32期で集まりましょう。

寝屋川高校で、ハンドボール部に入って、よかったこと。

それはやはり、同期のメンバーとの、出会いです。

練習の鬼である、キャプテンの岩本、なぜか女子にもてた、左サイドの西山、燃える主砲の寺岡、意外性の男宮本、飄々とスピッシュを決める三木、ムードメーカーの大地、そしてキーパーの私を入れ、7人は、いつも一緒でした。

そして、キャンディーズのようにかわいい、3人のマネージャー。

この出会いがなければ、高校時代は、ほとんど何をしたのかが分からない、3年間になるところでした。

ところで、私は始め、キーパーでは、ありませんでした。

どうすれば、シュートが上手くなるかを、考えていたのに、突然、先輩から、「お前、背が高いから、キーパーやれ」と言われ、同期からも、「岸が、適任」と見放され、結局、泣く泣く、キーパーになりました。

それでも、先輩、31期東さんのキーパーがかっこよく、華麗にシュートを阻止し、チームを鼓舞する姿を見て、キーパーもいかなと、思うようになったのか、その後は、疑問に思うこともなく、ひたすらキーパー業に、専念しました。

大学でも、ハンドボール部に入りました。

最初は、未経験者を装って、フィールドプレーヤーに転身するつもりでしたが、たまたま、キーパー経験者が不在ということもあり、やはり、キーパーを4年間つとめました。

同期に、大型の選手が集まったため、地方で万年2部のチームが、2年間で、1部優勝を果たし、幸運にも、インカレに出場することができました。

社会人になってから、数年後、広島に、教員団チームがあることを知り、運動不足解消のために、入部して、また3年ほど、ハンドボールをすることになります。

チームに、国体出場経験者や、中央で活躍していた選手もいて、レベルの高さに、圧倒されたのですが、地元のリーグ戦では、大学生チームにも、圧勝するなど、ここでも、いい思いをさせてもらいました。

ゴールキーパーを、なぜ10年も続けたのか、自分でも不思議です。

怪我は多いし、アザはできる、顔にボールが当たると、鼻血も出る。

女の子にもてる、ポジションでもなければ、人に言うと、「怖〜い、絶対やりたくない」と、言われる。

自分で、ゴールを決めることができないので、日常生活でも、だんだんマイナス思考になっていく。

そして、眠りに入る前に、ボールが飛んでくる夢を見て、足や手が反応し、なかなか、寝付けない等々。

それでも、10年間続けてきたのは、たまたま、なり手が少ないため、大事にされたこともあります。やはり、何となく、ハンドボールが好きで、キーパーが好き、だったのだと思います。

ハンドボールを、していたからこそ、あるいは、ゴールキーパーを、していたからこそ、多くの人と出会うことができたのも、確かです。

広島に、移り住んで27年。

こちらでの生活が、大阪よりも、随分長くなりました。

時々届く、寝屋川クラブの会報が、唯一大阪との繋がりです。

いつも、ありがとうございます。

現在、私は、広島市の小学校に、勤務していますが、数年前から、ハンドボールが、小学校の体育の教材に、取り入れられたため、時々、高学年の担任から依頼され、子どもに、指導することがあります。

私の、ヒョロヒョロシュートでも、子どもたちは、「すごい」と、褒めてくれます。

また、広島ということもあり、湧永のトッププレーヤーが、学校を訪問し、ハンドボールの楽しさを、教えてくれる事業もあって、その時ばかりは、私が一番楽しんでます。

それでは、次の方の指名ですが、同期の寺岡さんか、宮本さん、お元気でしょうか。

リレー伝言板、宜しくお願いします。



43期 高橋 真弓

44期の塩出(辰巳)常代さん「くり」より、ご指名いただきました、43期の高橋真弓「まゆ」です。

「くり」の伝言板を読んで、当時のハンドボール生活が、懐かしく思い出されました。

北岡先生(5代目顧問)や、高尾先生(36期、ダンボさん)が、鬼に見えたこととか(笑)

本当に、ご指導、ありがとうございました。

1つ上の先輩が、少なかったので、1年の時から、GKとして1人でやりました。

2年からは、後輩のくりが、GKになってくれたので、楽しいハンドボール生活を送ったように、記憶しています。

四半世紀前の話だから、思い出が、美化されてるかも(笑)

よっぽど、勉強の方が、辛くてキツかったです！

そんな私が、古文書を読んで、論文を書いたりするのを続けるとは、昔の私では、考えられないですね(笑)

1番の思い出は、2年の夏合宿で、高知県に行ったこと。

船で夜に出て、朝に着くってやつでしたが、船酔いが、練習よりキツかった。

よさこい祭りを、学校の3階から見られたのも、いい思い出ですね。

私はGKだったので、練習はそんなに大変じゃなかったけど、みんなは、本当に大変だったと思います。

夏は、みんな、倒れてたもんね。

特に、キャプテンのかりんは、超個性的なメンバーを、まとめるのに苦労したろうし、先生にいつも怒られて、損な役回りを、させてしまったね。

一昨年に女子5人が、久しぶりに集まった時、昔と変わらず、笑い声が絶えない時間を、過ごしました。

みんな、見た目も、全然変わってなくて。

また、集まりましょうね!!

次は、同期の西村(西浦)百合「ちゃお」さんか、大庭(草木)かおり「わかば」さん、お願いします。



## 寝屋川クラブ会報

### 57期 平田 悠樹

みなさん、はじめまして。

57期の、平田と申します。

私のハンドボール部の、思い出について、話させていただきたいと、思います。

私の代は、大森、栗林、小鳥と、私の4人でした。

3年間、常に部員不足に、悩まされていました。

特に、私たちが1年生の頃は、1年生と2年生合わせて7名で、ギリギリ試合ができる、人数でした。

今思い返すと、凄かったなど、思います。

同期の中で、私が一番はじめに、ハンドボール部に入部しました。私が入部した時は、2年生3人と、私の4名でした。

試合はおろか、練習さえもままならない、状態でした。

自分がなぜ、この部を選んだか、今でも謎です。

入部してから、1週間ぐらい後に、他校2校と、合同練習がありました。

この時の思い出は、最悪です。

全く、試合などしたことのない私が、試合に参加しなければならなかったのです。

ポジションの役割、動きも全くわからない私は、何がなんだかかわからない状態で、試合は終わってしまいました。

しかし、試合は、ただボールを追いかけて走っているだけで、楽しかったという記憶が、残っています。

私は、試合するためにも、部員を最低3人、増やさなければならぬと思い、クラスメイトを勧誘しました。

しかし、5月半ばで、大半のクラスメイトは、既に何かしらの部に、所属していました。

そんな時に、大森と小鳥が現れ、入部してくれました。

大森は、ハンドボール部の仮入部の際に、いっしょだったので、顔は知っていました。

小鳥は、同じ中学だったため、顔は知っていましたが、話したことは、一度もありませんでした。

私は、どうして入部したのか、聞いてみると、大森は、私が1年生ひとりしかいないことを知り、小鳥を誘い、入部したと、言いました。



私は、毎日かかさずに、練習に参加していて、良かった、ちゃんと見てくれている人がいたのだと、救われた感じがしました。

その後、夏に2年生が1名加入し、私が2年生になる前に、栗林が加入し、いつも、試合がなんとかでき

る、人数の部員でしたが、その分、部員間の仲も、良かったと思います。

本当に、部員には、感謝しています。

人数が少ないため、フィールドプレイヤーがキーパーをする必要があるなど、辛いこともありましたが、今では、いい思い出です。

ハンドボール部での3年間は、本当に、いい思い出しかありません。

今は、同期それぞれ働いている場所が違い、なかなか会うことはできませんが、また、同期で飲みに行き、ハンドボール部での思い出を、語り合いたいと思います。

末筆ながら、ここまで読んでいただいた方、ありがとうございます。

今後も、何かしらの形で、寝屋川高校ハンドボール部に、関わっていけたらと思います。

それでは、次のリレー引継ぎ者ですが、サイドシュートが神がかった、56期油利先輩か、同期のキーパーの栗林さん、お元気ですか、次回のリレー伝言板、よろしくお願ひします。



### 65期 井上 貴子

同期の山崎史帆さんから、ご指名いただきました、65期生の井上貴子です。

この伝言板を、書かせていただくことにあたり、当時のことを、思い返してみると、ハンドボール一色の、高校生活だったなあと思います。

汗と砂にまみれて、夏は真っ黒に焼け、冬はキャッチするときの痛みに耐え、赤星先生(7代目、顧問)に怒鳴られながら、毎日毎日練習したことは、今でも自分の誇りでもあり、自信につながっていると、思います。

当時は、つらくて、しんどくて、やめたいとばかり、考えていましたが、こうやって思い出してみると、ハンド部に入って3年間、続けてよかったと、心の底から思います。

私が、今でも忘れられない試合は、春の中央大会で、泉陽高校と戦った時のことです。

敵チームには、それまで3年間、コーチとしてお世話になっていた、江口先生がいたことが、私たちに、変なプレッシャーがかかり、前半はなんとか1点差で、勝っていましたが、後半は、相手に押されて、結局、2点差で、負けてしまいました。

中央大会の初戦で、負けてしまったことの悔しさ、これで引退試合になってしまったという、後悔の念は、本当に忘れることができません。

私は現在も、奈良の教育大学で、ハンドボールを続けています。

大学が、小規模であることと、マイナーなスポーツであることが、重なり、部員の数は、少ないですが、週3という、限られた時間の中で練習し、春と秋のリーグに、出場しています。

高校、大学と、ハンドボールを5年続けて、やっと、ハンドボールの楽しさがわかってきたし、うまくいくプレーの回数も、増えてきました。

高校のころは、とりあえず、がむしゃらにプレーをしていたので、この楽しさを、もっと早くからわかっていたらなあ、強く思います。

高校時代のように、後悔して、引退することがないように、あともう2年、ハンドボールに携わっていけたら、と思います。

高校の時は、格別にプレーが、上手いわけでもなく、シュートも外しまくるし、メンタル的なところで、みんなを引っ張っていくこともできず・・・と、どうしようもない、キャプテンでしたが、大学で続けて、少しは成長できたのではないかと、思います。

赤星先生には、たくさん迷惑をかけたし、結果を、残すこともできませんでしたが、それでも最後まで、見捨てずに、熱心にご指導いただいたことを、本当に感謝しています。

最後になりましたが、指導していただいた赤星先生、江口先生、堀川先生(8代目顧問、27期生)には、感謝しつくせないほど、お世話になりました。

また、練習に、お邪魔させていただこうと思いますので、今後とも、よろしくお願ひします。

それでは次は、我らがエース、65期生の金田絵里香さん、そして66期生のキャプテン、花光真紀さんに、書いていただこうと思ひます!!

- ① 「会員リレー伝言板」では、会員の皆さんを、大体10年単位8グループに分けて、皆様に現役の時の思い出、ハンドボールとのかかわり、近況等を、自由に綴っていただき、同期、先輩、そして後輩へリレー形式でつないでもらって、会員の皆さんに紹介をし、親睦の輪を広めたいと思っています。
- ② 本文では、今回の寄稿者の方には、次回の寄稿者の指名を行っていただいています。次回指名された方には、次回会報発行時に、OB・OG会役員より、寄稿のお願い・要領等の連絡をさせていただきますので、その節には、ご協力の程、よろしくお願ひします。



② OB・OG会会員の皆様、今回掲載されました内容について、感想、コメント等、あなたのメッセージを、事務局へ、別紙「会員だより」・返信用封筒（20期寺西）、又はメール [kkteranishi@yahoo.co.jp](mailto:kkteranishi@yahoo.co.jp) で、お寄せください。

## 会員だより

### 寝屋川高校での教育実習を終えて

奈良教育大学  
 学校教育教員養成課程  
 教科教育専攻 保健体育専修  
 河井 麻美 (64期)

こんにちは、64期生の、河井 麻美です。

6月1日～6月26日までの4週間、教育実習で、母校に帰って、勉強させていただきました。

教育実習前は、62・63期生の先輩の話聞き、大変厳しい実習であると、思っていました。

事前に訪問した際に、実習生の時間割を頂き、初日から授業をすることになっていて、本当に驚きました。

厳しい実習と、聞いていた分、正直な感想は、「こんなに、授業しやなあかんねや…」でした。

実習が始まり、実習生として授業をして、指導していただき、と、繰り返すうちに、先生方が、生徒に願いをもって、指導されていることに、気付くことができました。

実習生になって、やっとわかるようになりましたが、現役のころに、気付いておけば、もっと精神的にも、人間的にも、強くなれたのではないかと、思います。

もちろん、実習生にも、熱い思いをもって指導していただき、毎日成長させてもらっていると、実感できました。

実習が終わるころには、授業をすることに対して、「先生も伝えたいことがあって、授業をされるのに、こんなにたくさん、授業をさせていただけると、思うようになりました。

大学では、学びきれていなかった、教員としての資質の核となるものを、深く勉強させていただくことができ、感謝の思いでいっぱいです。

私の実習は、毎日が楽しくて、充実していたと思います。

伝えたいことが、伝えられなくて、思い描いた授業ができずに、落ち込んでも、部活に行けば、現役の子たちから、たくさん元気をもらうことができました。

キーパーとして入らせてもらって、2・1年生の女子とは、毎日のように、朝練・昼練・夕練をして、「今のシュートは、駆け引きが良かった」などと、話しながら、現役の頃のように、一緒に技術を、磨きました。

脚はあざだらけ、ボールの痕がついたのをみて、近畿大会を目指していたころを思い出して、懐かしかったです。

先生のもとで、1年生から3年生まで、気持ちを一つにすること、あんなに熱く、ハンドボールをできるのは、高校時代だけだと、改めて思いました。

また、67・68期生（3年生）の卒業・引退した子たちも、練習に来てくれることがあり、縦のつながりの深さを、感じられたので、嬉しかったです。

最後に、高校を卒業しても、帰って来られる・成長させてもらえる寝屋川高校は、やっぱり、最高だと思います。

先生方から、教えていただいたこと、生徒から、教えてもらったこと、ハンドボール部から、教えてもらったことを胸に、来春から社会人として、頑張っていきます。

本当に、ありがとうございました。



### < 編集後記 >

① 今年のインターハイ杯（高松宮記念杯第66回全日本高校選手権大会）が、8月2日（月）～7日（金）まで、大阪府堺市で開催されます。

堺市金岡公園体育館 堺市家原大池体育館  
 堺市立大浜体育館 堺市原池公園体育館  
 堺市立初芝体育館

久しぶりの全国大会の開催、生の全国レベルの試合を、見にいかれるのはいかがでしょうか。

詳しくは

・インターネット検索  
 日本ハンドボール協会

②関連サイト

・大阪ハンドボール協会  
 大阪高体連ハンドボール専門部  
 ・寝屋川高校ハンドボール部OB・OG会ホームページ